

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第2回武蔵村山市在宅医療・介護連携推進協議会
開 催 日 時	平成28年9月28日（水） 19時30分 ～20時35分
開 催 場 所	市民総合センター3階 小会議室
出 席 者 及 び 欠 席	出席者：下田委員、小関委員、小山委員、宇津木委員、堀尾委員、佐藤委員、高佐委員、柳川委員、新井委員、五十嵐委員、田野倉委員、宮沢委員、鹿取委員、渡邊委員、北部地域包括支援センター保健師、高齢・障害担当部長、高齢福祉課長、高齢福祉グループ主査、管理グループ主査、管理グループ主任 欠席者：河西委員 傍聴者：なし
議 題	報告事項1 平成28年度第1回会議録について 報告事項2 平成28年度第1回多職種研修会の実施について 議 題1 （仮称）在宅医療・介護連携支援センターの設置について 議 題2 介護予防・日常生活支援総合事業について 議 題3 在宅医療・介護連携推進に当たっての課題の抽出について 議 題4 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	介護と医療の連携手法、普及啓発や効果の検証等について、できる限り事務局でも案を提示することとされた。 在宅医療・介護連携支援センターのセンター長予定者の本協議会への参加について、事務局で検討していくこととされた。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	開会 《報告事項1 平成28年度第1回会議録について》 事務局：説明 委 員：質疑なし 《報告事項2 平成28年度第1回多職種研修会の実施について》 事務局：説明。次回第2回は、「認知症」をテーマに武蔵村山病院で開催予定である。 委 員：質疑なし 《議題1 （仮称）在宅医療・介護連携支援センターの設置について》 事務局：業務内容、契約方法等について説明 委 員：質疑なし 《議題2 介護予防・日常生活支援総合事業について》 事務局：説明。本資料は、事業者及び地域包括支援センターに示したものの。本提示は現状案であり、今後事業者等の意見を踏まえ修正を加えていく。

委員：基本チェックリストを使ってもサービスを利用できるということだが、請求は国保連合会を通してできるのか。

事務局：事業の種別により異なる。詳細は今後決定する。

《議題3 在宅医療・介護連携推進に当たっての課題の抽出について》

事務局：各委員が職務上感じている優先的に取り組むべき課題について意見聞きたい。

委員：医師としては前回会議の意見となる。

委員：薬剤師としては、職種が異なる中で医師との連携等、専門職間の連携実績の情報共有等が重要であり、連携の推進に繋がると考える。

事務局：今後も多職種研修会や地域ケア会議等への参加を促し情報共有していけるようにしていきたい。

委員：ケアマネジャーとしては、多職種研修会で貴重な意見を聴くことができた。市民への普及啓発では、市報で特集を組む等、早めに情報提供していく必要があると考える。

事務局：多職種研修会は、今後も継続していくと共にできるだけ多くの職種への声掛けや回数についても検討していく。市報への掲載は、できるだけ早く対応していきたい。

委員：市報の充実を検討聞きたい。また、訪問リハビリ開始へのタイムラグ等もあり、切れ目のない医療と介護の連携をよりスピーディーに行っていく必要がある。情報共有の場の提供・充実を願う。

会長：時間短縮は、在宅医療・介護連携支援センターができれば可能か。

委員：理想としては退院時のカンファレンスに呼ばれるのが良いが、退院してしばらくしてからケアマネジャーから話がかかることもある。通所リハビリ、通所介護、訪問リハビリ、訪問介護のいずれにするのか選択肢がある中で決めかねることもあると思うが。

委員：退院調整会議で細かく決めているケースもあるが、病院側で想定できないような状況が在宅で発生するなど、全員が決められている訳ではないと思う。

委員：訪問看護では、情報共有はMC Sを使っているのもスムーズだ。訪問診療と訪問看護の違い等が市民には区別できず周知が必要だ。講演等の場で在宅看護のPRも必要と考える。

委員：市民周知では地域包括支援センターも時間がかかっている。パンフレットを様々な場所に置いても今でも知らない市民もいる。多職種研修はケアマネジャーだけではなく様々な立場の人を入れていく必要がある。市全体の地域ケア会議は多職種研修会と似ていると感じる。地域ケア会議の回数を増やすこと、また小地域ケア会議も地域包括支援センターでの統一性も必要かもしれない。地域のネットワークづくりを行う生活支援コーディネーターが各地域包括支援センターに付けば地域への発信等で良いと感じる。

委員：地域包括支援センターの住民周知が不十分である。困難ケースが増えており、そのような事態になる前に情報提供や相談できる場として周知していきたい。また、居場所づくりとしても進めていく。

委員：連携に関しては温度差を感じる。地域包括支援センターの考え方と医療現場の考え方に差があると感じた。また、生活保護を担当する部署のケースワーカーとの関係でも行政内での連携がとれていないと感じる。

	<p>委員：住民周知は難しく課題である。歯科訪問診療の利用率が低く感じる。摂取嚥下の研修も行ったがいかしきれていない。いかすためのシステムづくりに力を入れていきたい。</p> <p>委員：病院内での医療と介護の連携を進めるのも難しい部分もあり課題である。切れ目の無い在宅医療と介護の提供や支援を進めていく上で、地域でどれくらい行われているのか、うまくできているのか、地域差等についてモニタリングしていく必要があり、これらを誰がやるのかも考えていく必要がある。市町村の連携等もモニタリングする必要があるかも考えていく必要がある。</p> <p>委員：地域の医療と介護の資源の把握が必要である。退院する前に本人が必要とする場所がどこにあるのかという情報を得られない独居高齢者等もいる可能性もある。作成したマップのような案内もできるようにすることも必要と考える。</p> <p>事務局：普及啓発や効果の検証は、必要なことである。今回の意見を参考にできる限り事務局でも案を提示してみたい。</p> <p>《議題4 その他》</p> <p>事務局：次回は11月9日水曜日を予定している。</p> <p>会長：次回は11月9日（水）19時30分とする。</p> <p>委員：本協議会は、今後も継続されるのか。</p> <p>事務局：継続していきたい。</p> <p>委員：病院とは別の立場になると思われるため、在宅医療・介護連携支援センターのセンター長の立場になる者も委員として参加させてもらいたい。</p> <p>事務局：事務局で委員の追加について検討していく。</p> <p>終 了</p>
--	---

会議の公開・非公開の別	<p>■公開 傍聴者： _____ 0人</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>
-------------	---

会議録の開示・非開示の別	<p>■開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示（根拠法令等： _____）</p> <p><input type="checkbox"/>非開示（根拠法令等： _____）</p>
--------------	---

庶務担当課	健康福祉部高齢福祉課（内線：632）
-------	--------------------

（日本工業規格A列4番）